

4年は県のよさを地図帳から拾い出し 「観光の花びら」に整理

～福岡県を例に人間と自然環境との関係をとらえる～

●東京成徳大学子ども学部 特任教授・
五川大学 名誉教授 寺本 潔

1 単元「わたしたちの県（後半）」は 昔と自然のよさに着目

児童は1学期に県の地形（等高線も含む）や土地利用、主な産業、交通の広がりを学んでいるため、県の地理的な概要をつかんでいます。単元の後半は県内の事例地域を取り上げながら、「人間と自然環境との関係」の観点から、県のよさを具体的にとらえさせます。効果的な観点は「昔（歴史・伝統）と自然（地形・気候）のよさ」から導かれる関係です。福岡県を例にすると、約1100年も前から守られてきた天満宮がある太宰府市や、アカウミガメの産卵とびわづくりが有名な岡垣町が教科書に事例地域として取り上げられています。伝統的工艺品も東峰村のこいしわらやま小石原焼いしわらやまが紹介されています。まさしく昔からの技術と自然（陶土）が織りなすよさがあります。

地図から習得できる見方・考え方のポイントは「人間と自然環境との相互依存関係」をとらえる場面です。福岡県は、『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』（以下、地図帳）p.35～36〔①九州地方北部〕で調べることができます。そこには、陸の高さで色分けされた等高段彩の地図に地名や土地利用、交通網、産物記号、文化財等がぎっしりと載っています（図1）。この地図から「情報を収集する技能」を「情報を読み取る技能」にレベルアップする学びが4年生に求められます。一例をあげると、児童が凡例と照合し「福岡市や北九州市に広がる黄色の市街地と薄紫の工業地や筑紫平野に広がる緑・黄緑色の田や畑は平野（低地）だから、道路や鉄道、港が造られ昔から街が発展してきた」「筑紫山地や耳納山地は茶色の山地だから、水はけがよく青緑色の茶畑や桃色の果樹園がある。川

の上流にはダムが多い」と人間と自然環境との相互依存関係につながる読み取り（○○だから、△△がある）ができるとよいでしょう。

2 地図帳から県のよさを拾い上げ 「観光の花びら」に整理

この単元では単に県の概要を児童が理解するだけでなく、県の発展を願う素地を育てたいものです。つまり、県のよさを観光の魅力に格上げする意識づけが大事となります。教師から「県に観光客がもっと来てくれたらいいね」「観光客にたずねられたときに県のよさを説明できたら立派だね」とつぶやくことで、児童の追究意欲が増します。

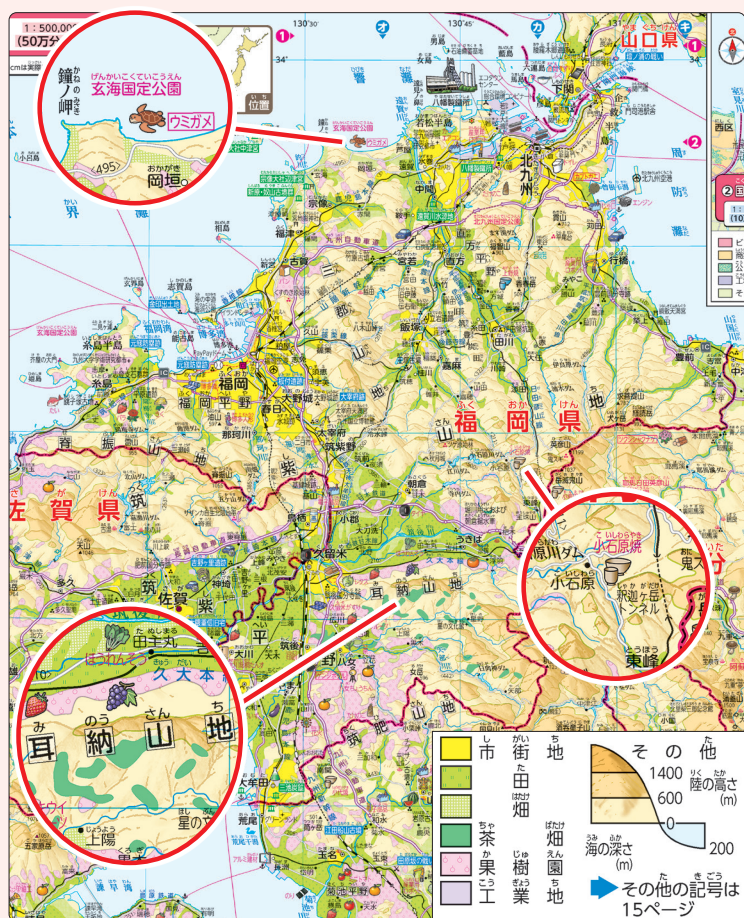


図1 くわしく見る地図（九州地方北部）にある福岡県の読み取りのポイント 『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』 p.35～36（45%縮小、丸の中と凡例は100%）

4年 地図活用のポイント



- 1 昔(歴史・伝統)と自然(地形・気候)のよさを県の地図で読み取ることで、人間と自然環境との相互依存関係をとらえることができる。
- 2 地図帳から県のよさを拾い上げ「観光の花びら」に整理することで、県が一層身近に引き寄せられ、県の発展を願う素地が育まれる。

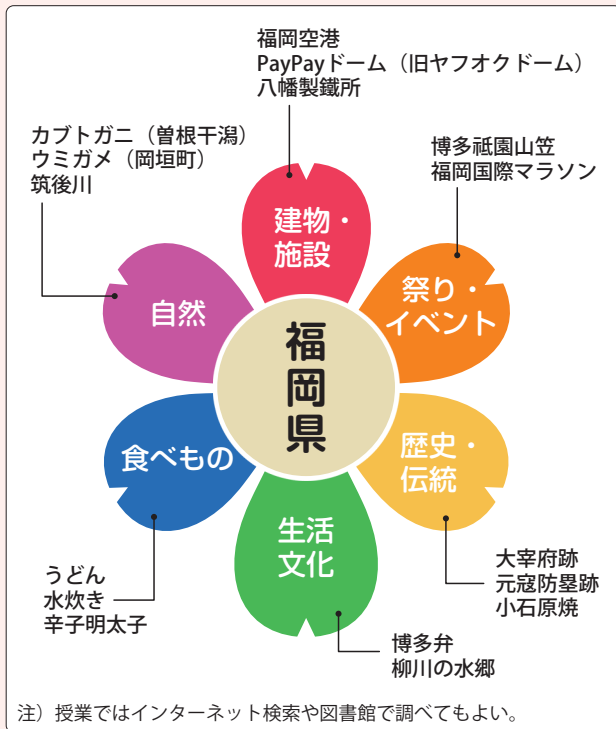


図2 福岡県の「観光の花びら」に書き込まれたよさ(例)

そしてここで、筆者が考案した「観光の花びら」を使うと知識が整理できます(図2)。図1だけでなく同じページにある「②国際化が進む福岡市」(図3)からも県のよさを拾い上げます。その際には、地図としっかり照合させることです。例えば、岡垣町の「ウミガメ」を言葉だけ拾い上げるのではなく、自然豊かな海岸を想像させ「玄海国定公園」の文字にも着目させてください。班で考え合うと6枚の花びらそれぞれによさを埋めることができるでしょう。

3 国際交流は地図で訪日客が使う船や飛行機、新幹線を確認

この単元の末尾は県が国内外とつながっている様子(観光や姉妹都市つながり)を扱います。ここでも地図帳が効力を発揮します。p.78「①アジア」の地図と図3を開かせ、九州各県とのつなが



りや外国から博多港に來港するクルーズ船、福岡空港(⊕)と山陽・九州新幹線に気付かせ、韓国を始め諸外国との活発な交流を想像させます。縮尺(地図のものさし)で外国と福岡市との距離を測るのもお勧めです(具体的には、福岡市から1000kmを測らせ、範囲内にソウル、上海、成田・東京があることに気付かせます)。

さらに地図帳は単元「わたしたちの県」だけでなく、飲料水の確保や県内で起きた自然災害、先人による土地の開発等の単元でも活躍します。ダムや浄水場と市街地との位置関係、県を襲った水害や雪害、地震や津波災害等に関する地形と気候、干拓や用水開発も「人間と自然環境との相互依存関係」をとらえる学習です。

【参考文献】

- 教育出版 小学校社会科用教科書 令和2年度版『小学 社会 4』
寺本潔・澤達大編著『観光教育への招待—社会科から地域人材育成まで』2016 ミネルヴァ書房
寺本潔著『地理認識の教育学—探検・地理区から防災・観光まで—』2021 帝国書院
寺本潔監修『はじめて学ぶ観光副読本 観光でまちを元気に! 日本・ふるさと再発見! (改訂版)』2022 (公社)日本観光振興協会